

金山編

会期〉 2017年12月22日(金) - 2018年1月14日(日)

会場〉 金山町開発センター 3F 大会議室ほか

休館日: 12/24、29 ~ 1/3、7、8

村のひろがり・私の奥行き

新潟大学人文学部・福島県大沼郡金山町連携協定記念 2017「村の肖像」展 IV



PHOTO (上): 角田勝之助 (下): 榎本千賀子

主催: 新潟大学人文学部・金山町・新潟大学旭町学術資料展示館・砂丘館 企画: 新潟大学地域映像アーカイブ研究センター・金山町中央公民館 協力: 新潟フジカラー

福島と新潟の県境にある町 奥会津・金山町

厳しく豊かな自然のなかにひらかれた宇宙

新潟編

金山町玉梨に生まれ育った角田勝之助（1928－）が撮影した1950－1970年代の金山町と、東京に育ち、金山町に移住した榎本千賀子（1981－）による現在の金山町。砂丘館では、ひとつの地域を捉えるふたりの視点を通して、生活の場を舞台とした映像実践の可能性を探ります。あわせて、金山町を中心とする奥会津の音を素材とした菅谷昌弘（1959－）による音楽作品を展示し、視覚・聴覚の2つの側面から、世界を探索することの不思議を味わいます。

また、旭町学術資料展示館では、金山町が取り組む映像資料の調査・保存・活用プロジェクトの成果を通して、雪・山・川とともにある金山町の姿を紹介します。

砂丘館 旧日本銀行新潟支店長役宅

ふたつのかねやま — 角田勝之助と榎本千賀子

会期 > 2017年11月17日(金) - 12月10日(日)

開館時間 > 9:00-21:00 休館日: 11/20、24、27、12/4

キュレーター: 大日方欣一、榎本千賀子

ギャラリー・トークI 「かねやまの映像」

11月23日(木・祝) 14:00より 場所 > 砂丘館 和室

- ①「榎本千賀子の写真について」
出演: 榎本千賀子(写真家)、聞き手: 大倉宏(砂丘館館長)
- ②「角田勝之助の映像について」 出演: 原田健一(新潟大学)
- ③「金山町の映像について」
出演: 榎本千賀子、原田健一 司会: 大倉宏

ギャラリー・トークII 「かねやまの雪・山・川そして音」

12月10日(日) 14:00より 場所 > 砂丘館 和室

出演: 榎本千賀子(写真家)、菅谷昌弘(作曲家)
聞き手: 堀川久子(ダンサー)

新潟大学 旭町学術資料展示館

雪・山・川がひらくかねやま

会期 > 2017年11月17日(金) - 12月10日(日)

開館時間 > 10:00-16:30 休館日: 11/20、21、27、28、12/4、5

キュレーター: 榎本千賀子、原田健一

新潟市 西大畑 / 古町



砂丘館

951-8104 新潟県新潟市中央区西大畑町 5218-1

TEL & FAX: 025-222-2676 E-mail: sakyukan@bz03.plala.or.jp

砂丘館へのアクセス

- 新潟駅からのバス: 西循環(12・12A・12B系統)、19系統または観光循環バス「西大畑坂上」下車、徒歩すぐ。
- 自動車: 駐車場はありません。付近の有料駐車場をご利用ください。

新潟大学旭町学術資料展示館

951-8122 新潟県新潟市中央区旭町通 2番町 746 TEL・FAX: 025-227-2260

あさひまち展示館へのアクセス

- 新潟交通バス: 「東中通」下車、徒歩5分または「市役所前」下車、徒歩約7分。観光循環バス「新津記念会館前」下車、徒歩3分。
- JR 越後線: 「白山駅」下車、徒歩約15分。
- 自動車: 工事のため駐車場がご利用いただけません。付近の有料駐車場をご利用ください。

※新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。

地域社会＝「村」とそこに暮らす「私」たち一人ひとりに抱かれた、はてしない広がりとおとぎ話。
映像メディアを手に、自らが暮らす世界をさぐるひとびと。
金山町と新潟市、只見川と阿賀野川に結ばれた2つの開催地で、
奥会津・金山町の「村」を舞台とした多彩な映像実践を紹介します。

入場無料

お問い合わせは
各会場へ



左上から右へ： 沼沢湖でのヒメマス漁（昭和10年代） | 上田ダムによって水没した下井草集落での日中戦争戦没者の葬儀（1938年） | 各家庭で盛んに行われていた養蚕（昭和40年代） | 材木伐採の現場で行われていた移動製版（1936年） | 大志・水井桐材店に積まれた乾燥中の桐下駄（1935年頃） | 滝沢地区で捕獲された熊（1971年） | 上田ダム完成を視察する秩父宮妃と白州次郎（1954年） | 横田鉱山坑内の様子（1972年以前） すべて金山町「村の肖像」プロジェクトより



金山編

金山町は現在、新潟大学人文学部と連携しながら、町内に残された映像資料の調査・保存・活用事業に取り組んでいます。町のひとびとが自ら残した映像資料を通して、「電源の町」と呼ばれた金山町でダム開発がもたらした影響、2011年新潟・福島豪雨災害の被害を乗り越えて2021年に全線再開が予定されているJR只見線の姿、林業・農業・鉱業・土木建築業の移り変わりなど、変貌する金山町の20世紀を振り返ります。メイン会場となる開発センターに加えて、町内各所で立地にあわせたサテライト展示を行い、過去の映像と現在の金山をつなぎます。

金山町



金山町開発センター

968-0011 福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393
TEL: 0241-54-5361 FAX: 0241-54-5377

金山町開発センターへのアクセス

- 自動車：磐越自動車道、会津坂下ICから車で55分。
- JR只見線：「会津川口駅」下車、徒歩5分。

（金山町開発センター 大会議室 ほか）

20世紀のかねやま

—変貌する人と自然—

会期 > 2017年12月22日(金) - 2018年1月14日(日)

開館時間 > 8:30-17:00 休館日: 12/24、29 ~ 1/3、7、8

調査・キュレーター: 金山町中央公民館、榎本千賀子

サテライト会場: 道の駅 奥会津かねやま、JR会津川口駅、

フェアリーランドかねやまスキー場、金山町温泉保養施設「せせらぎ荘」

「ふたつの金山」 12月23日(土・祝) 14:00より

場所 > 金山町開発センター3階 大会議室

- ①「角田勝之助に聞く」 出演: 角田勝之助 聞き手: 大日方欣一(九州産業大学)
- ②「榎本千賀子に聞く」 出演: 榎本千賀子 聞き手: 長谷正人(早稲田大学) 司会: 大日方欣一

新潟編

会期> 2017年11月17日(金) - 12月10日(日)

会場> 砂丘館(旧日本銀行新潟支店長役宅)

休館日: 11/20、24、27、12/4

新潟大学旭町学術資料展示館

休館日: 11/20、21、27、28、12/4、5

村のひろがり・私の奥行き

新潟大学人文学部・福島県大沼郡金山町連携協定記念 2017「村の肖像」展IV



PHOTO(上): 榎本千賀子 (下): 角田勝之助

主催: 新潟大学人文学部・金山町・新潟大学旭町学術資料展示館・砂丘館 企画: 新潟大学地域映像アーカイブ研究センター・金山町中央公民館 協力: 新潟フジカラー